

「たのしいせいかつ」 小学1年生の生活科

小学1、2年生の学習科目に「せいかつ」というものがあるのをご存知ですか？ 記者もわが子が海浜打瀬小の1年生になり、「国語」「算数」「音楽」「図工」と、自分の小学生時代から変わらない科目に混じって、「生活」という見慣れない科目があることを知りました。「私の子どもの頃はこんな科目なかったな…」「あれ、理科・社会がないからその代わり？」

疑問がふくらみ、海浜打瀬小1年生の生活科の授業「握手大作戦」、「公園探検」の様子を取材してきました。【斎田】



(写真左) 公園探検で訪れたカジュアルパーク。いつもの公園も先生やクラスの人々と来ると景色が違います。(写真上) 握手大作戦で無事先生と握手ができた。でもなんだかまだ恥ずかしそう。

握手大作戦 6月12日(金)

「握手大作戦」という名前を聞いて、何だか面白そうな校内行事だなと思っていたのですが、授業の一環だったとは。サンタイム(2校時と3校時の間の20分間の休み時間)に、先生方を訪ねて握手を交わし自己紹介をする取り組みです。取材した日は2年生の先生を主に、5人の先生に握手をしてもらおう目標です。

班ごとに先生を探して出発！握手してもらえそうな先生を求めて皆フロアを右往左往。あちこち探し回ってんやわんやです。先生を見かけても、緊張した顔で様子を見るだけで声が出ません。声をかけても大丈夫そうか、空気をよむ能力も養っているような気さえします。勇気を出して声をかけたけれど、先生が児童のもめ事(?)仲裁の真っ最中だった…！、なんてことも。ようやく無事に握手をしてもらえ先生に会え、恥ずかしそうに自己紹介。「〇年〇組〇〇です。好きなものはドッジボールです」「はい、よろしくお願いします。先生も、小学生の頃ドッジボールが好きでしたよ」こんなやりとりの後、各自が持っているスタンプラリー用紙のようなシートに、サインや印をもらいます。

なかなか握手の相手に会えないで困っている班には、「ちょっと頭を使ってみて回り方も考えてみようか」と担任の先生からのアドバイス。

握手大作戦はまずクラスの友達どうしから始め、学年、学校と次第に世界を広げていくのだそうです。他の学年の先生のこととも知り、挨拶ができるようになったら困

った時には自分から聞いてみたり、助けを求めることができるように…、そんな趣旨があることを柳谷校長先生から伺いました。サインやスタンプが全部揃う頃には、もっと安心して学校で過ごせ、もっと積極的に周りの人と関われるようになっているかもしれませんね。



公園探検 6月17日(水)

梅雨の晴れ間の水曜日、1、2校時を使ってもうひとつの「生活科」公園探検が行われました。

「学校の中とはまた違う、街の中でのルールを確認しながら、探検しましょう。街の人に迷惑をかけない歩道の歩き方、横断歩道のわたり方、公園での遊び方にも決まりがありますね」とは、出発前の先生のお話。事前にクラスごとに確認した今日の目当てを頭において活動するようにとのお話も。学校を出て、まずはスポーツパーク(三丁目公園)を目指します。道すがら、何台かの幼稚園バスに出会い、「あ、〇〇せんせい」と再会の場面もたびたび。「大きくなったねえ、がんばって！」微笑ましい光景で

す。「探検」、とはいっても、皆慣れ親しんだベイタウンの街歩き。横断歩道も皆列になり手を挙げてスムーズに渡りますが、総勢100人弱の児童です。たまに大人から見るとはらはらすることもあります。無事にスポーツパークへ到着。公園のトイレを利用する時も、必ず誰かに伝えて一人で勝手に行かないようにと注意があります。スポーツパークを経由して、皆楽しみにしていた目的地カジュアルパーク(第5公園)へ時間通りに到着。

ここまで強い日差しの中を歩き、疲れ気味だった表情も、公園で遊べるとなると一気に明るくなります。全体で2組に分かれ、遊具側と広場側を交互に約20分ずつ遊べることに。「やったあー!!」まだ朝9時ということもあり、公園には街の人はおらず1年生の元気な声が響き渡ります。「校長先生、見てみてー」と親しげに摘んだ花を見せる女子児童。鬼ごっこで汗だくになり走り続ける男子児童。皆持参した水筒の中身が空になるくらい元気に遊び、最後は「赤玉青玉公園」(第2公園)、「2丁目公園」を通して学校へ無事に戻りました。

暑さの中正味2時間のコース、この後も授業がまだまだあるのかと思うと、特に給食後の1年生の様子が気がかりではありましたが…、皆さん頑張りましたね！

「生活科」とは、1989年に導入、1992年から全面实施され、「直接体験を重視し、身の回りの地域や自分の生活に関する学習活動を行うことで、またそれらの学習を通じて、自分の生活や自分自身について考えたり、生活上必要な習慣や技能を身につけ、自立への基礎を養っていくことが趣旨」とのこと(文科省：小学校学習指導要領解説より)。

近年は「安全教育」も一層重視されているとのことで、今回の公園探検はそういった方針にも基づいているのだと理解できました。

取材を通して、地域の一員である私たちとの触れ合いも生活科の一部なのだと実感しました。さらにいえば、生活科は地域や保護者の協力が必要不可欠な教科ともいわれ、私たちも地域の一員として、保護者として、果たす役目も多そうですね。

気になる「生活科」、今後も注目していきたいです。



ベイトウン 20 年の歩み展

勝手に年表制作委員会がベイトウン 20 周年年表を公開

6月6, 7日の土日にコア講習室でベイトウン20周年記念年表公開展が開かれました。この年表は昨年5月末から住民の有志8人が集まり作りはじめたもので、この種のイベントとしては異例の300人（主催者発表）もの人が訪れ、20年の歩みを振り返りました。【小原】



コア講習室に入るとすぐに目に入るのは正面の壁に貼られた主役の年表。20年間の長さということで、縦約80cm横5m弱。壮観です。前に立った方はまずあるところを探します。自分たちのマンションの入居年のところ。そこが自分のベイトウン年表の起点というわけです。

次に多くの方が足を止めたのはロッテ優勝パレードの部分。アンケートでも多くの方が思い出深いこととして挙げていました。中には「パレードは今まで2005年と2010年の2回。今年は2015年なので優勝してほしいね」と期待を込めて語る人も。

部屋の中央はベイトウンニュースのバックナンバーを始め、図書館や関係の方々からお借りした街作りに関する書籍、資料コーナーがありました。ドアが開くなりすぐに来てメモ帳を手に熱心に調べ物をしていたのは打瀬小の3年生。「打瀬学習」という課題学習で、打瀬の歴史を調べているのだそうです。また、別の小学生はベイトウンニュースをばらばらめくり、自分が生まれた年にはこんなことがあったのか、と興味深げに見ていました。他にも街作りのデザインに関する資料などめったに見られないものもあり多くの方が手にとっていま

した。

この展示会にはビデオ視聴コーナーもありました。第一期で入居した年表委員会の御供さんが、几帳面に様々な場面を記録した秘蔵映像の公開です。

「うわっ地味〜！」とラジオ体操のビデオを見て声をあげたのは小学生。確かに約20年前は今のラジオ体操とは人数が全く違い「地味」です。その中にいたはずの「元小学生」はそれを聞き苦笑しています。今もラジオ体操を主催する鎌田さんも20年前の自分と対面し、話に花が咲きました。

1999年撮影の「ディベート大会 in ベイトウン祭り」では高校生が『24時間営業の店は必要か』というテーマで特設会場で討論会をしていました。映像にはこの街の計画の中心となった建築家の蓑原先生が高校生に対して手加減のない質問をする姿もあり、ディベートの雰囲気も真剣そのものです。この街は予め完成品があったわけではなく、様々な試みを積み重ねてできた実験都市の性格があったことを垣間見ました。街開きから20年というこのときに節目となる年表ができた意味はそれなりにあったのかな、と感じました。

蓑原先生はベイトウンに今も在住で、この「歩み展」にも来ていただきました。ま

た、ディベートに参加していた当時の高校生の一人は、20年前の自分の姿を連れてきたお子さんに見せるという微笑ましい場面もありました。

来場した方からは「年表という形にしたことはとても意義がある。これから30年40年と記録を残していくベースとなるものですね」「ベイトウンは、まだできる前から京葉線で出来上がっていくところを眺めていた、あこがれの場所でした」など、様々な感想や思い出をうかがいました。皆さん楽しんでいただけたと思います。また、アンケートでは、記念誌やシンポジウムなどの今後の活動に関しても多く期待を寄せられました。

この年表の作成は街の様々な方の協力の賜物です。打瀬小の校長先生には四苦八苦して年表をプリントアウトしていただき、「打瀬学習」の助けにと子どもたちに紹介してくれました。また、社会科の先生からは年表を3つの小学校で地域学習のために役立てたいとの申し出がありました。このような地域と学校のつながりの太さも大切にしたいですね。

「勝手に年表制作委員会」では、今回作成した年表をベイトウンの皆さんがダウンロードして家族の歴史を書き加えることができるようにしたいと考えています。準備が整ったときには、ベイトウンニュースでもお知らせします。



「打瀬学習」でお父さんと一緒に年表を見て宿題をする小学3年生。打瀬小では年表展示を学校で知らせたこともあり、小学生が多く来た。

今年も「夏休みラジオ体操」

ベイトウン夏の定例「ラジオ体操」を今年も行います。下記の日程で開きますので、日時と場所を確かめておいでください。

昨年は日曜日も開催したところ「お父さん」と一緒に参加できたと好評でした。今年もご家族でおいでください。

7月20日（月）～7月26日（日）

午前6:30～ 海浜打瀬小学校校庭

7月27日（月）～8月2日（日）

午前6:30～ 美浜打瀬小学校校庭

8月24日（月）～8月30日（日）

午前6:30～ 打瀬小学校校庭

このほか6月27日、7月4日、11日、18日の朝6:00から各小学校6年生「ラジオ体操子どもリーダー」の研修会を海浜打瀬小ピロティにて行っています。6年生リーダーのみなさんを応援してください。



公聴会を開きます

「マリンデッキの自転車通行」についてご意見をください。

自治会連合会では7月5日(日)と9日(木)の2回、マリンデッキの自転車通行について皆さんの意見を聞くための公聴会を開きます。マリンデッキについては自転車事故の危険があることからデッキ内にボラードを設けることが検討されましたが、美観の問題から反対もありそのままになっています。

今回の公聴会はこの問題の解決方法について皆さんの意見を聞き、その後今月内に行われる自治会連合会の定例会で話し合うための判断材料とするものです。自治会連合会では現状のまま置くことも含め、ボラード設置ありきではなくあらゆる選択肢について皆さんからの意見をもとに検討することになっています。是非参加の上、ご意見をいただければと思います。

「マリンデッキの自転車通行について」公聴会

日時：7月5日(日) 午前10:00～、7月9日(木) 午後5:00～の2回

場所：ベイタウン・コアホール

是非多くの方の参加をお願いします。



街の玄関口にあるデッキは著名な建築家、曽根幸一氏のデザインによるもので景観の街ベイタウンのシンボルのひとつ。名称の「マリンデッキ」は公募による「地名」として地図にも載る。

ボラードを作るとこのデッキの通路に逆U字型の鉄製のパイプが取り付けられる。



夏休み子ども将棋大会 参加者募集

日時：7月26日(日) 午後1:00～4:00

場所：地域連携センター(旧こどもルーム)

募集人数：24人

参加資格：ベイタウン在住の小学生

参加費：無料

申し込み：211-0918(高田)まで電話でお申し込みください(先着順です)。

締切り：7月19日(日)

主催：社会福祉協議会 打瀬地区部会

ベイタウンできごとろじー 2015年6月

5/31(日) 7・8・9・10番街交差点で乗用車転倒事故

5/31頃 打瀬中学校タイサンボクが開花

6/1(月) 打瀬保育園が長期補修工事

6/6(土)、7(日) ベイタウン20周年のあゆみ展開催

7月のコア・イベント

わくわくおはなし会 7月の常設おはなし会

日時：7月18日 第3土曜日 10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね!

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

寺子屋工作ランド

よくなく「セミ」 ふりまわすと「ミーンミーン、ジージー」とよく鳴きます。

日時：7月25日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの：はさみ、おりがみ

参加費：50円(保険料)

保護者の方も参加されるときは材料費50円を負担いただければ幸いです。

第140回ファティオリの会(コア文化振興基金後援事業)

日時：7月26日(日) 9:30～12:30 a.m.

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことができます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

※通常と異なり第3週、夜間開催となります。

申込締切：7月19日(日)

申込先：TEL&FAX 276-3878(大垣)ymogaki@k4.dion.ne.jp

図書館から「夏の行事」のお知らせ

① 夏の親子おはなし会

日時：7月23日(木) 午後3:30～4:00 3歳児以上と保護者

午後4:00～4:30 5歳児以上と保護者

(お子さんだけでも参加できます。)

場所：ベイタウン・コア 講習室

内容：絵本やおはなしを楽しみます。当日、直接会場に来てください。

② 子ども1日図書館員

日時：7月29日(水)・30日(木)・7月31日(金)

午前9:30～12:00

場所：打瀬分館

対象：小学3年生

定員：各2名(計6名)(応募者多数の場合は抽選)

内容：本の貸出・返却(カウンター業務)・本を元の場所へ戻すなど

申込：来館または往復はがき、または電子申請で7月15日(水)まで

③ 小学生の夏休み工作教室～算数頭を使ってみよう～

日時：8月5日(水) 午後2:15～3:15

場所：ベイタウン・コア 工芸室

対象：小年生

定員：24名(応募者多数の場合は抽選)

申込：来館または往復はがき、または電子申請で7月22日(水)まで

詳細・問い合わせ：打瀬分館 TEL:272-4646

今年の3月末。打瀬中では転任する先生方を送る離任式が行われていた。式の中で陸上部顧問だった遠藤先生が「我が部は打瀬中で一番熱い部活です」と語っていた。転任を惜しんで駆けつけた昨年の卒業生達が先生を囲んで一緒に涙を流していたのが印象的だった。そうか陸上って熱いスポーツなんだ。いつか取材してみよう。【松村】

それから3ヶ月たった6月15日の午後。梅雨でどんよりした天気の中、誰もいない打瀬中のグラウンドで20人ほどの陸上部員が黙々と練習をしていた。「3本目行きます」「はいっ」。声変わりした男子の低い声に女子のきれいなソプラノが応える。「ファイト!」。緊張感のあるピュアな声が無人の校庭に響く。



中間テスト前の閑散としたグラウンドで黙々とメニューをこなす部員たち。

この日打瀬中は中間テスト前で部活は禁止の日。他に誰もいないのはそのせいだった。5日後に行われる記録会に向けて、出場するメンバーだけが特別に許されて練習していたのだ。ふざけて走り回ったりすることもなく、淡々とメニューをこなすその姿にはストイックささえ感じる。

打瀬中陸上部は近年千葉市の中学陸上大会で常に上位を占めている。ここ2年ほど男女ともに総合優勝や準優勝を連続して受賞し、今年の夏には全国大会出場も夢ではないレベルまで来ているという。特に強い種目は男女の400mリレー。100mを4人で走るこの競技はひとりだけ突出した選手がいても勝てる種目ではない。総合力で勝ち続ける打瀬中の姿を象徴している。「個人はチームのために」。指



ダッシュの練習(写真上)と練習後に届いた新しいユニフォームに見入る女子部長の日野さん(写真下左)と男子部長の阿部君。下は顧問の三浦先生。



導する三浦先生は部をそう語る。

「練習はどのくらいやるの」。練習の合間に休んでいた副部長の土屋君に聞いてみた。土屋君はハードルで千葉県ナンバーワンという選手だ。「今は夏なので2:45から6:30までです」「毎日?」「はい」。彼は話さなかったが、この他に朝練として7:00～7:45の練習もあるという。

練習はいつも校舎の周りをゆっくりとランニングすることから始まる。ストレッチやダッシュなどそれぞれが決められたメニューに従って練習をする。思いつきでなく決められたプログラムに従って、それをきちんとこなすことの連続だ。メニューは顧問の先生が考える。

練習のあと男子の部長阿部君に話を聞いた。「去年の冬は吐きそうになるほど練習がきつかったけれど、転任した遠藤先生の指導で辛い練習を乗り越えられた。今のチームの強さはその結果だと思う」。阿部君にとっては冬の苦しい練習を部員全員でやり抜き、女子や2年生も含めた陸上部全体が強くなっていることが最大の喜びのようだ。話を聞いていて3ヶ月前の離任式で遠藤先生が言った「陸上部が熱い」という言葉を思い出した。

取材を終えて帰り際に顧問の先生が届いたばかりの荷物の箱を持ってきた。開けるなり女子部長の日野さんが「ヤバイ!!」と見入る。見るとそれは新しいユニフォーム。次の記録会で初めて着るのだそう。しかしユニフォームの数は男女合わせて12着。出場する部員だけが着られるもので、先生によると「選ばれし」部員だけが着られる栄光のユニフォームとのこと。このユニフォームのために朝も夕も頑張ったのだ。熱い。選ばれた君も、惜しくも及ばなかった君も、がんばれ打瀬中陸上部。

住民の手でコアを運営したい 続報

「コアの運営を考える会」では、次の2つの内容で住民の皆さんからのボランティアで協力いただける方を募集しています。

1. ペイタウンコアの施設や設備について、どこが故障しているのか、どんな不具合があるのかを調べる活動
2. 公民館講座を企画する活動

打瀬公民館は築後13年を迎え、設備の劣化や故障が進んでいます。特に音楽ホールについては照明や操作機器に故障が多く運営に支障がでることもあり、このままでは早晚使えなくなります。「運営を考える会」では具体的な故障箇所や備品を点検し、リストアップすることが必要と考え、これを調査するためのボランティアを募集しています。

2つ目の公民館講座の企画は、講座の企画内容や講師の依頼などを行う作業です。これまでの公民館講座とちがった、新しい内容の講座を求めています。例えばサークル主催の音楽会や一般体験者向けの紹介イベントなども公民館主催の講座として登録できます。今回募集するのはこれらの講座を年間約20講座企画し、実行するためのボランティアです。

コアの運営を考える会の次の会合は
日時：7月5日(日) 午前10:00より
場所：センター(旧子どもルーム)

で開催します。

この問題に関心のあるたくさんの方の参加をお待ちします。【松村】

流しそうめんとシャボン玉で遊ぼう

社会福祉協議会 打瀬地区部会では、昨年度から「おやこのふれあい場所」をテーマに親子で楽しめる活動を始めています。

昨年の流しそうめんでは、そうめん以外にも楽しめるものを流したり、ペットボトルで水鉄砲をつくったり、びしょ濡れになりながら遊びました。昨年の経験から、たくさんの子供たちにも参加していただければと思っています。

7/5(日)には、竹を切って、ながしそうめんの準備をします。竹のフシ取りなど普段経験することができない様子なので、是非ご参加下さい。ペイタウンコアの調理室前で9時半から開始します。

また、小学校の子どもルームにはお知らせポスターを掲示しますので、そちらもご覧になってください。

日時：7月12日 11:00～15:00(材料がなくなり次第終了)

場所：ペイタウンコア 調理室前

対象：未就学児～小学生

参加費用：200円

主催：社会福祉協議会 打瀬地区部会

お問い合わせ先：

oyakofcafe.Baytown@gmail.com(山口)